新規・継続等 業		新規		分野 交通安全施設		色設	設の整備(歩道整備) 事番		44 事業名				交通安全施設等整備						
市町村名		かぎも 木	tis 村	ふりがな 箇所名		いちかみいいだせん (一) 上飯田線		ばんば 馬場				事業年度		H23 年度~		~ H26 年度			
	計 画 概 要 (延長・幅員・面積・工種など H23年度以降残実施り 突			歩道設置.	I L=200	Эm	n W=2.0m					H22年度 事業進捗		0.0 %					
事							同上					本	工事費等	ベース 0%					
	H23年原	 度実施内容	7	物件調査	、用地補償	1=	式				用地補償費·			ベース 0%					
業	年 度			全体事業費			H21年度まで		ŀ		H23年度			H23年度以降残					
概	事業費	計(千円)		200,000		00						20,000			,				
要		国庫支出		90,000)	11,000			· ·			
	財源内訳	その他県債	•									9,000			0 0 90,000				
		一般財派	百																
	観点			·			<u> </u>	0				0,000				部	政策評価課		
		ā	半加	量(台/12h) 量(人/日) :者交通量(台・人/日) 生				_	評	0 / 121 1	-	500 ti	15.1	1 1 000 /:	ランク	評点	ランク	評点	
	必要性	自動車交流	通量				■ 4,000台以上 □ 500台未満		1,000 台未	0台以上 [。] 満	4,000	□ 500台以上1,000台 未満			Α	15		15	
	(40)						■ 歩 100人以上 自歩 150台・人以上		□ 40人~100人未満 60~100台·人未満 □			ロ 40人未 60台・		満		10	Α	10	
		歩道の連続	続性						□ 連続しない							5		5	
		通学路の	指兌						■ 整備されれば指定		□ 指定なし				7		7		
		小計														37		37	
筃	重要性	重点施策·	~ σ	の位置づけ			□ 国の重点施策である		交通実施		安全総点検を		□ 位置づけた			3		3	
所	(10)	市町村整備	備言				□ 位置づけあり			づけなし	,				С	0	C	0	
		小計														3		3	
評価	効率性 コスト縮減の工夫			 工夫		1	■ 配慮している		配慮	していな	い					5		5	
	(10)	事業効果(23年以降残事業年			事業年数)		□ 2年以内		3年	~4年		□ 5年以		A		3	Α	3	
		小計														8		8	
		安全性の	確仍				動機園·保育園等		□ 学校·駅等			□ 関連施設なし		В	5	В	5		
	(10)	事故発生	状炎	況 人or自転車×車両			□ 3件以上		1~2	件		■ 事故無	無し	<i></i>	D	0		0	
			1	小 計												5		5	
		地元からの	の要	望			■ 非常に高い		□高い			□ 低い □ 用地ストック無し				10	<u>)</u>	10	
	可凹	用地取得	状炎	₹			□ 用地ストック有り	•	■ 概ね合意						Α	7	Α	7	
	熟度 (30)	事業情報の	の‡	共有		_	■ 関係者以外周知		□関係者中心に周知			□ 周知していない] ^	5		5	
		住民参加の	住民参加の状況				□ 住民が直接参加	•	意見	を反映		□ 反映し	てし	いない		3		3	
		小計													_	25	_	25	
	1						評価の合詞	<u></u>							Α	78	Α	78	
	事業実施に至る歴 史的経緯・社会的 背景 当箇所の前後には歩道が を横断することとなり大変危 り、歩行者の安全確保が重要					険な状態であり、人身													
事業	地域からの要望経 緯 村役場から毎年要望が上に あった、同年11月に実施され								区長•ℨ	支援センター	一理	事長から道	道路管理	里課へ	直接要	· 望が			
	事業説明	等の経緯		H20秋期に交通安全総点検を実施。点検後に行った検討会では村長他役場職員や沿線地権者などにより意見が交わされた。 H22 3月 地元説明会の開催															
	環境・景観への配 慮項目			特になし。															
境	他事業・プロジェクト との関連			特になし。															
							路を整備し、地域住民の生活の、地域がよりに対する住民の意				を向上させ	を向上させる。また、福祉			上環境整備の一環でもある				
	地域の合意形成 □			□ 全員賛成			■ 概ね賛成		□ 過半数賛成			□ 動向不明			□ その他				
	部意見			、養護学校 の整備が必		おり	の、生徒が危険にさらさ	れて		攺策評価 意	i課 見	要性は認め	から	れる。					